

①基本目標

資料4

基本目標1：正しくおいしく食べましょう！

(1) 栄養・食生活

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：ライフスタイルに合わせた正しい食習慣を身につける	R1年度	R2年度
取組①食に関する情報をまとめて発信できる場所を設置する		
・食育のバナーを作るなど、住民が活用しやすいようにホームページの整備を図る	○	○
・若い世代が情報を得やすいように、多様な場所の開拓（駅・銀行・医療機関・商業施設など）や興味を持つ方法で食に関する情報を発信していく	○	○
取組②料理教室など、食に関する体験の機会を増やす		
・若い世代（20～30歳代・中学生など）に対して料理教室などを開催し、食に関する体験の機会を増やす	○	○
取組③地域での食生活改善行動がしやすい仕組みをつくる		
・各小学校区などで「あすなる会」が活動しやすいしくみをつくる	○	○
取組④食に関する普及活動を実施する人材を育成する		
・「あすなる会」の養成講座の定期開催を目指す	○	○
・「せいか食育劇団もぐもぐ」のメンバーの増員を図る	○	○
取組⑤専門職による相談体制を充実させる		
・幼児健診（1歳6か月児健診・2歳児歯科健診・3歳6か月児健診）で栄養士による相談を増設し相談体制を充実させる	○	○
取組⑥食に関する団体・組織のネットワークを強化する		
・若い母親世代に対し、食に興味を持ってもらうための取組を「あすなる会」や子育て支援センターと連携して実施する	○	○
・商工会を通して、地域の商店で食の情報発信がスムーズにできるように連携していく	○	○
課題2：全世代において「食育」への関心を高める		
取組①地域で一緒に料理をしたり食べる機会を増やす		
・「あすなる会」が実施する料理教室を増やせるように活動体制を強化する	○	○
取組②食育の意味を知っている人を増やす		
・男性や若い世代に対して情報発信を強化する	○	○
取組③体験型の食育イベントを増やす		
・せいか365プロジェクト「体感！野菜のそこちから」において、野菜に興味をもってもらうイベントなどを実施する	○	○
達成率	100%	100%

【令和2年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉
 - 駅や保健センター、ホームページでの「食」啓発の充実（新規情報64ページを追加、QRコードの活用）および広報誌、家族の健康カレンダー、ポスター掲示、リーフレットの配架（6,032枚）による情報発信
 - 食情報の発信場所の拡充（新規にメガドンキ、国立国会図書館、すずらん館）および京都府「食の健康づくり応援店」登録支援（新規登録店20店舗、辞退2店舗、現在登録店22店舗）
- 〈取組②〉 ●料理教室開催に向けた、メニューの開発および試作の実施
- 〈取組③〉 ●あすなる会運営の支援
- 〈取組④〉
 - 令和3年度「第7期食生活改善推進員養成講座」の開催準備
 - 「せいか食育劇団もぐもぐ」のメンバー募集ポスターの掲示やSNSを活用した「食育劇」の配信と新たな周知
- 〈取組⑤〉
 - 乳幼児健診、パパママ教室、特定健診結果相談会、骨密度測定における個別栄養相談の継続実施
 - 新たに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業における個別栄養相談の実施
 - 新型コロナウイルス感染予防対策のため①パパママ教室のオンライン実施②乳児健康診査における指導媒体の変更（紙→スライド）③乳幼児保護者向けリーフレットの作成（幼児健診を中止とした中、保護者の不安解消などのため、これまでの相談内容をまとめたもの）
- 〈取組⑥〉 ●新たに、子育て支援センターと連携し、子育て事業での「食」啓発の実施

【課題2】

- 〈取組②〉 ●広報誌やSNS、町内施設、配架物などを活用した「食育の意味」の周知
- 〈取組③〉 ●「いつも野菜カフェレストラン」（せいか365プロジェクト令和3年度新規加入予定）での食農体験の継続実施

【令和3年度の取組状況】

- 「京都府食の健康づくり応援店」における食育推進ポスターの新規掲示（20店舗）
- 第7期食生活改善推進員養成講座開催中（9/17、10/1開催済。10/22、11/5に開催予定）
- 離乳食動画作成（ホームページ掲載済）
- せいか365あすなるクッキング4回開催予定（7/31親子クッキング開催済。10/20、11/19、1/19に開催予定）
- クッキング動画準備中
- 「食育推進団体」へのSDGs研修準備中

基本目標1：正しくおいしく食べましょう！

(2) 歯と口の健康

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わうことができる	R1年度	R2年度
取組①歯の健康に関する情報を発信し、住民の歯の健康づくりに対する意識を高める		
・歯周病と生活習慣との関連や定期健診の必要性について、広報誌・ホームページの活用や公共機関、商業施設などを利用して啓発する	×	○
・歯科講演会を実施し、啓発を図る	○	○
・歯科情報に触れる機会が増えるよう、保健事業などで歯科情報を掲示する	○	○
取組②歯科健診を受けやすい環境づくりを推進する		
・町内歯科医療機関の場所や診療科目情報をわかりやすいリーフレットにして配布する	○	○
・歯科医師会及び歯科衛生士と協議の場を持ち、健診を受けやすい環境づくりを進める	×	○
達成率	60%	100%

【令和2年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉
- パパママ教室の歯科衛生士の講話において、歯科健診の必要性について啓発を強化
 - 乳幼児健診では、感染症拡大防止のため、フッ素塗布やブラッシング指導は中止となったが、歯科医師による診察や歯科衛生士による歯科指導を、感染症対策を講じながら実施
 - 乳幼児健診時に送付するリーフレットに「乳歯ケアの必要性」を掲載
 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業にて、65歳以上の事業対象者へ「フレイル予防の口腔ケア」の資料送付や、75歳以上に口腔機能のチェックリストが掲載されている小冊子を送付
 - 口腔フレイル予防・改善を含めた資料やDVD・動画を作成しオーラルフレイル対象者への配布や庁舎内での放映、動画配信やHPへの掲載。広報での認証コードを含めた周知や公共機関、商業施設等への掲示や配架による啓発
 - 家族の健康カレンダーに歯周病予防や歯科健診の必要性について啓発
- 〈取組②〉
- 家族の健康カレンダーに歯科医院の一覧を継続掲載
 - 年度末年齢76歳の方への歯科健診実施に向けて、関係機関と話し合いの場を設け調整

【令和3年度の取組状況】

- パパママ教室や乳幼児健康診査等で保護者への歯科健診啓発を強化
- 乳幼児健診等の機会を利用し、歯科医師や歯科衛生士と、歯科健診の現状や保健指導の内容等について協議を継続
- 乳幼児健診の機会を利用し、乳幼児健康診査以外での定期健診の受診の必要性を周知
- 特定保健指導時に歯科相談ができる環境を整備
- 年度末年齢76歳の方を対象に、オーラルフレイル予防のため後期高齢者歯科健診（75歳お口の健診）実施、オーラルフレイルの予防とフレイルの啓発
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業で、オーラルフレイル対象者に歯科衛生士による相談や電話での支援を実施、対象者には歯科健診の案内

基本目標2：楽しく体を動かそう！

(1) 運動・身体活動

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：子供が身体を使う楽しさを身に着ける	R1年度	R2年度
取組①親子を対象にした昔遊びや手づくり遊びの場を増やす		
・親子で参加できるイベントと合わせ身体活動の必要性を学ぶ場所や機会をつくる	○	×
取組②関係機関が協力しあい、子どもの体力の向上の取組をする		
・関係課・体育協会・小中学校と、問題の共有や対策について協議の場を設け取組の充実を図る	×	○
課題2：みんなが自分にあった運動を実践する		
取組①年齢に応じた運動についての情報発信と学ぶ機会を充実させる		
・運動や外遊びの重要性について、乳幼児健診の場などを利用して啓発を行う	○	○
・運動の重要性についてデータや数値を活用し、年齢に応じた啓発を図る	○	○
・ロコモティブシンドロームについて、定期的な広報掲載や啓発場所の拡大を図る	○	○
取組②専門家による運動相談ができる場を充実させる		
・専門的な相談の場である特定健診の結果説明会や健康教室の周知を強化する	○	○
・体育協会など関係機関や団体と連携を図り、相談の場の充実を図る	○	○
課題3：運動に取り組みやすい環境づくりをする		
取組①運動に関する仲間づくりやコミュニティができるようなくみづくりをする		
・健康教室参加者の自主グループづくりの支援をする	○	×
・住民協働の活動支援・育成により、運動づくりに取り組む団体数やイベント数を増やす	○	○
取組②戸外で身体を動かすイベントを定期的に開催する		
・定期的ウォーキングイベントだけでなく、身体を動かすイベントを多様な視点で開催する	○	○
・若い世代が運動するきっかけとして、親子で参加できるイベントを企画・実施する	○	○
取組③様々な年代の人が楽しく参加できる運動イベントを開催する		
・ウォークラリーなど誰でも参加できるイベントを実施する	○	×
取組④地域でウォーキングロードなどをつくり、イベントを企画する		
・「歩く」をテーマに住民協働でウォーキングコースの作成やイベントを実施する	○	○
・「いちご☆体操プロジェクト」でいちご体操の啓発やイベントの拡充を進めていく	○	○
取組⑤身近に運動を楽しめる施設や場所などの環境を整備する		
・町内各課が連携して、運動できる環境整備を推進する	○	○
・無関心層が運動するきっかけづくりとして、健康ポイント制度の導入を進める	○	○
達成率	87.50%	81.25%

【令和2年度に取り組んだこと】

【課題1】

- <取組①> ●町内健康づくり団体（せいか365プロジェクト3団体、精華町ふるさと案内人の会、精華町体育協会）とせいか365職員運動推進部会が協働で、「せいかお宝発見ウォーク」を企画（新型コロナ感染拡大防止のため中止）
- <取組②> ●養護教諭と協議の場をもち、教育分野と保健分野の連携のきっかけづくりの実施

【課題2】

- <取組①> ●体を使った遊びについて掲載したリーフレットを作成、乳幼児健診の案内時に同封して送付
●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、高齢福祉課と連携しDVD作成・HP・広報及び65歳以上の方にフレイル予防のリーフレットを送付
●がん検診会場でロコモティブシンドロームのポスター掲示とリーフレットを配架
●特定保健指導対象者に運動の重要性について説明
- <取組②> ●精華町スポーツ協会等と連携し、せいか365プロジェクトの活動の場を調整

【課題3】

- <取組①②> ●令和元年度実施のせいか365プロジェクト活動育成セミナーで結成した食農体験プロジェクト「いつも野菜カフェレストラン」の活動継続支援や、新旧のプロジェクトの交流を図り、自主グループへの支援実施
- <取組③④> ●「せいかお宝発見ウォーク」でウォークラリーを企画（新型コロナ感染拡大防止のため中止）
●緊急事態宣言下の乳幼児健診中止の案内に、いちご☆体操のチラシを同封して送付
- <取組⑤> ●高齢者のフレイル予防を自宅で実践できるように動画やDVDを作成しHPへの掲載と、庁舎内フリースペースで放映
●子育て世代の運動のきっかけづくりのため、乳幼児健診や子育て支援センターと連携し、各事業をポイント付与対象とし申込を勧奨

【令和3年度の取組状況】

- がん検診等で、せいか365プロジェクトやフレイル予防の運動について情報発信
- 特定保健指導にて運動の重要性についてリーフレットを用いて指導
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業でリーフレット等を活用し運動について相談を実施
- 健康ポイント事業の利用者拡大のため各保健事業や子育て支援事業を活用し健康ポイントの利用勧奨
- 養護教諭と協議の場を持ち、現状を共有する機会を継続して実施

(1) 生活習慣病・循環器疾患・がん

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：望ましい生活習慣を身につける	R1年度	R2年度
取組①健康づくりを実践している住民グループを支援する		
・教室終了後の生活習慣改善につながる住民やグループを支援する	○	○
・健康づくり活動をするグループや人材を地域の中で発掘する	○	×
取組②住民に必要な健康情報を発信する		
・啓発の場を商業施設など人が集まる場所にも増やす	○	○
・子どもの生活習慣の課題や方策について、小中学校と協議の場をもつ	×	○
・子どもを対象にした生活習慣病確立のためのリーフレットを作成し、配布する	×	×
取組③生活習慣病予防のための健康教室や講演会を開催する		
・若い世代への健康教室や講演会の周知を強化する	○	×
課題2：健診を活用した健康づくりを推進する		
取組①地域で情報交換し、受診勧奨しあうしくみづくりをする		
・地域で活動しているグループと連携し、グループを通じて地域住民への受診勧奨を行う	×	×
取組②健診の必要性についての普及啓発を強化する		
・「家族の健康カレンダー」を活用し、健診の必要性についての啓発を拡充する	○	○
・関係課や医療機関と連携し、特定健診の対象者全員へ案内を送付する	○	○
・子宮がん検診で、受診率が低く無関心層の多い20-30歳代への受診勧奨を強化する	○	○
取組③健診受診後の保健指導を充実させ、自己管理ができるように支援する		
・新たな健康教室を開催し、保健指導メニューの充実を図る	○	○
・生活改善に向けた支援や指導について、訪問や電話など積極的なアプローチをする	○	○
取組④みんなが受けやすい健診体制を整備する		
・乳がん検診の受診場所の拡大や、子宮がん検診の受診期間の拡充を図る	○	○
・健(検)診時の託児を設ける	○	○
達成率	78.57%	85.71%

【令和2年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉 ●がん検診や特定保健指導にてポスター掲示、勧誘で365プロジェクトの周知を継続実施
●365プロジェクト活動育成セミナーを開催、参加グループを支援
- 〈取組②〉 ●検診や健康情報の啓発として庁舎内、近隣駅にポスター掲示、リーフレット配架、HP等で継続周知
●フレイル予防啓発のため、商業施設や国会図書館、近隣駅にポスター掲示やリーフレット配架
●養護教諭と話し合いの場をもち、教育分野と保健分野の連携のきっかけづくりの実施

【課題2】

- 〈取組②〉 ●健(検)診案内を健康カレンダー、広報誌、HP、ポスター等に掲載
●関係機関と連携し、健(検)診対象者に検診案内を継続実施
●70歳未満の女性に対し、女性がん検診の登録制度を廃止し、対象者全員に受診券を送付(受診勧奨)
●子宮頸がん検診で20歳の未受診者に再勧奨を継続実施
●新生児訪問等の母子保健事業で成人健(検)診の受診勧奨を実施
- 〈取組③〉 ●特定保健指導対象者に保健指導(面談、訪問、電話)を継続実施
●高齢者と保健事業と介護予防の一体的実施事業でフレイル対象者に相談事業(面談、訪問、電話)を実施
●糖尿病重症化予防として対象者に受診勧奨、個別保健指導を実施
- 〈取組④〉 ●乳がん検診個別医療機関の拡充の調整。また女性がん検診の受診期間を延長
●集団がん検診での託児や、休日に開催

【令和3年度の取組状況】

- がん検診の託児や休日開催を継続して実施。WEB申し込みの開始や健(検)診・健康情報の啓発として庁舎内、近隣駅にポスター掲示、リーフレット配架、ホームページ等で周知
- 特定健診では山城南圏域へ指定医療機関を拡充、また乳がん検診の個別受診場所の拡充(1箇所)
- 特定健診受診者に対し、特定保健指導、希望者への保健指導実施
- 特定健診・人間ドック受診者に対し案内を送付し、肥満対策教室(からだ軽やか塾)を開催
- 令和2年度から糖尿病重症化予防として受診勧奨や個別指導を継続実施
- 高齢者と保健事業と介護予防の一体的実施事業として高齢福祉課と連携し、フレイル対象者に相談、特定健診再勧奨、電話支援、訪問等実施
- 特定保健指導、糖尿病重症化予防対象者に運動に関する講義の開催を検討
- 町内学校養護教諭と話し合いの場をもち、教育分野と保健分野と連携し、現状や課題共有の実施
- パパママ教室のオンライン開催や電子申請システムでの申込み・アンケートを継続実施

基本目標3：みんなでニコニコ健康生活！

(2) たばこ・アルコール

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：喫煙率を低下させる	R1年度	R2年度
取組①禁煙・分煙を推進する		
・施設の禁煙対策が進むよう働きかける	○	○
取組②COPDの知識を普及啓発する		
・COPDの啓発について、禁煙対策と一体的にすすめる	○	○
・喫煙者に対して、COPDのスクリーニング票を活用した啓発や予備軍への指導を行う	○	○
取組③喫煙による健康への影響について情報提供する		
・京都府・学校との連携で未成年者への教育内容の充実を図る	○	○
・妊婦の喫煙状況を把握し、喫煙者については個別的な禁煙支援をしていく	○	○
・各種母子保健事業を通じて養育者・同居者の禁煙状況を把握し、啓発媒体を活用した禁煙支援、啓発を行う	○	○
・禁煙希望者に、禁煙のための情報提供や禁煙外来などの支援を受けられる場所を掲載したチラシを作成し配布する	×	○
・広報誌やホームページ、キャラクターの活用など多様な媒体を活用して啓発を強化する	○	○
・世界禁煙デーや禁煙週間に積極的な啓発に取り組む	○	○
課題2：適切なお酒との付き合い方が理解できる		
取組①アルコールが健康に及ぼす影響や適切な飲酒量について情報提供する		
・京都府、学校と連携し教育内容の充実を図り、未成年者への教育を強化する	○	○
・妊婦教室で啓発を図る	○	○
・妊婦届出時に飲酒状況を把握し、飲酒者に対しては個別支援を実施する	○	○
・多量飲酒者（アルコール依存症）への支援は、京都府と連携した個別支援を進める	○	○
・断酒会、アルコール依存症者治療対応病院などの情報提供を行う	○	○
・広報誌やホームページ、キャラクターの活用など多様な媒体を活用して啓発を強化する	○	○
達成率	93.30%	100.00%

【令和2年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉 ●禁煙や分煙に関するポスターを庁舎内に掲示
- 〈取組②〉 ●がん検診、女性がん検診の際にCOPDの周知啓発を実施
- 〈取組③〉 ●妊婦届出時やパパママ教室、新生児訪問、乳幼児健診において情報提供や保健指導を実施
 - 特定保健指導の際に情報提供や保健指導、禁煙指導を実施
 - 喫煙による身体への影響を広報にて情報提供
 - 町内や近隣市町村にある禁煙外来のチラシ作成、保健指導等で配布

【課題2】

- 〈取組①〉 ●妊婦届出時やパパママ教室で情報提供や保健指導を実施
 - 広報にて、断酒会の情報提供を実施
 - 飲酒過多による身体への影響を広報にて情報提供
 - 京都府内にあるアルコール外来、アルコール依存症相談窓口のチラシを作成し保健指導等で必要時配布
 - 特定保健指導の際に情報提供や保健指導を実施

【令和3年度の取組状況】

- 禁煙や適性飲酒に関するポスターを庁舎内に掲示
- 各保健事業や広報誌、HP等で喫煙や適正飲酒についての情報提供や保健指導を継続して実施
- 食生活改善推進員養成講座にて禁煙、適正飲酒について講義実施

基本目標4：笑顔でいきいき過ごしましょう！

(1) 休養・こころの健康づくり

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：うつ病など、こころの病気を予防する	R1年度	R2年度
取組①こころの病気についての正しい知識と理解を促進する		
・健康教室や講演会、健診で自殺、うつ病などこころの健康づくりに関する啓発を図る	○	○
・自殺予防週間や自殺対策強化月間に、積極的な啓発に取り組む	○	○
取組②心の病気について、相談や支援できる人材を育成する		
・京都府や関係課と連携し、こころの健康推進員の育成や事業の周知を図る	○	○
取組③こころの病気の専門的な相談窓口の存在について周知する		
・相談窓口になる機関について周知を進める	○	○
取組④こころの病気をもつ人を支える専門機関のネットワークを強化する		
・関係機関と連携し、こころの病気をもつ人を支える居場所づくりを目指す	○	○
・関係機関と連携して、自殺対策の強化を図る	○	○
課題2：楽しく安心して子育てができる		
取組①地域で子育て家庭を見守り、支援する		
・育児不安が強い養育者や問診票で支援が必要と判断された者へのサポートを充実させる	○	○
・母子保健事業の充実と関係機関との連携により、地域で子育て支援をするネットワークづくりを進める	○	○
取組②地域の中で子育てについて相談・支援できる人材を育成する		
・地域での子育ての相談・育児サポートができる人材を見つけ、活動ができる場を紹介する	○	○
取組③母子保健・子育て支援事業を充実させる		
・妊娠期からの切れ目のない支援が行えるしくみをつくる	○	○
・母子保健事業の機会を活用し、若い世代に対し、睡眠や休養についての啓発を行う	×	×
・育児で孤立する人や育児に肯定感を持っていない人を母子保健事業を通じて把握し、安心して子育てができるように支援する	○	○
取組④いろいろなニーズに対応した子育て支援情報を発信する		
・町内全中学校での乳幼児交流事業の実施を目指し、他課と連携する	○	○
達成率	92.30%	92.30%

【令和2年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉 ●「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」において、こころの健康づくりに関してコロナ禍の引きこもり予防と社会的交流についての啓発のため、65歳以上の方にリーフレットを送付
- 〈取組②〉 ●こころの病気を抱える人に、個別相談や福祉サービス利用への支援を実施
●庁舎内に相談窓口の案内チラシを配架

【課題2】

- 〈取組①②〉 ●乳幼児健診中止期間に育児や発達面についての不安・ストレスの訴えに対し、電話や訪問等で不安軽減
●民生主任児童委員の会議に参加し、母子保健担当の保健師と顔の見える関係づくりを実施
●コロナ禍でうつやDV・虐待等の増加を防ぐため、子育て支援課・子育て支援センターと連携し、育児等の相談先のポスターを作成し、地域の商業施設に掲示
- 〈取組③〉 ●妊娠届出時に全数面談を実施し、必要者を産後ケア事業や産前産後サポート事業等の利用に繋げ、切れ目のない支援ができるよう母子保健担当内で情報共有を実施
●質問の多い育児相談内容をまとめたリーフレットの作成・ホームページ掲載や乳幼児健診時に配布し、育児不安の軽減やこころの健康問題に対して支援
●パパママ教室をオンラインで開催し、コロナ禍でも安心して出産・子育てができるよう支援
●死産や流産を経験した方の相談場所をホームページに掲載し、相談先に関して情報発信
- 〈取組④〉 ●中学生と赤ちゃんの交流事業の中止の代替えとして、精華南中学校と連携して助産師の講話と沐浴体験を実施

【令和3年度の取組状況】

- 相談事業・個別支援の継続と、健康教室等での仲間づくりを支援し、孤立化を防ぐ
- フレイルのハイリスク者への相談・訪問の実施と、フレイル予防の情報発信を実施
- 母子健康包括支援センターの機能強化のため、子育て支援センターと母子保健担当分野の連携を継続実施
- 産後ケア事業や妊産婦健康診査委託病院等と連携し、より早期に支援ができる体制を整え実施
- パパママ教室をオンラインと参加型の併用で行い、つながりを意識し実施
- 母子の要支援者に他課の事業への参加を促し、関係機関で連携して見守りを実施

基本目標4：笑顔でいきいき過ごしましょう！

(2) 生きがい・ふれあい・社会参加

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：自分を認めた生き方ができる	R1年度	R2年度
取組①自己肯定感を高める学習の場を作る		
・保健事業で、元気増進軸を増やすことを意識した運営をしていく	○	○
・子育て世代包括支援センターを設立し、妊娠期から切れ目なく、自分らしく安心して子育てが続けられるような支援の充実を図る	○	○
課題2：社会の中で自分らしい力を発揮できる		
取組①若い世代の人が参加できる仕組みを考え、世代間交流の機会を持つ		
・中学生と赤ちゃんの交流会を拡充できるよう連携する	○	○
・若い世代のニーズ把握を進める	○	○
取組②地域のリーダーを育成する		
・事業を通じてリーダーを発掘し、地域型のせいか健康づくりプロジェクトの拡大を図る	○	×
・せいか健康づくりプロジェクトの参画者、プロジェクト数を増やす	○	○
取組③自分らしい力を発揮する場の周知をする		
・せいか健康づくりプロジェクトに参加・参画しやすいように、活動やルールなどの周知を行う	○	○
・社会活動に積極的な60歳前後にターゲットを絞って周知を行う	×	×
・パネルの設置など、健康づくり情報が得やすい工夫を図る	○	○
達成率	89%	78%

【令和2年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉
- 初めて子育てをしている母親に対し、一人ひとりの価値観を尊重しながら互いの体験や不安を話し合うことにより、自信をつけ子育てのスキルが高められるようNobody'sperfectプログラム（子育て支援事業）を勧奨
 - 母子健康包括支援センターにおいて助産師による相談体制の充実
 - 世代間交流のため、育児サークルの紹介を積極的に実施
 - 特定保健指導や「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」の個別相談において、元気増進の視点を入れ、せいか365プロジェクト活動の周知

【課題2】

- 〈取組②〉
- 「いつも野菜カフェレストラン」プロジェクトの活動継続のための支援を行い、令和3年度より新たにせいか365プロジェクトへの参画決定
 - 新たにオープンした精華台の商業店舗の協力を得ながら、ポスター掲示やリーフレットの配架等、健康づくりに関する情報発信の場の設置
 - 「文化サークル・体育クラブ紹介冊子」にせいか365プロジェクトについて掲載
 - がん検診で、せいか365プロジェクトの周知を実施
 - 家族の健康カレンダー、ホームページ、広報にせいか365プロジェクトの活動紹介を掲載。QRコードを活用し情報を得やすい工夫

【令和3年度の取組状況】

- 特定保健指導や高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業、健康教室等において、社会参加の場の周知
- 新旧のせいか365プロジェクトの交流を図り、取組拡充の支援の実施
- がん検診、結果返却会などの事業で参加者にせいか365プロジェクトの周知
- 駅の連絡通路、広報華創、家族の健康カレンダー、文化サークル・体育クラブ紹介冊子にせいか365プロジェクトの活動を掲載し周知
- せいか365プロジェクトのPR動画を作成し、せいかまつりで紹介
- 子育て中の親に自分の長所や能力に気づいたり、親としての自信と自尊心をさらに築けるよう、Nobody'sperfectプログラムの継続勧奨
- 中学生と赤ちゃんの交流会をオンラインで実施できるよう他課と連携

②各基本目標に共通した取り組み

しくみづくり・人づくり・プロジェクトづくり

【令和2年度に取り組んだこと】

〈しくみづくり〉

●庁舎内各課との連携・協働

せいか365職員運動推進部会員と職員一人一人が自ら健康について意識的に取り組めるように過去にせいか365の研修に参加していない職員に参加を募り、人材育成研修を企画[→感染拡大防止のため延期]

●住民との連携・協働

- ・「いつも野菜カフェレストラン」プロジェクトが令和3年度よりせいか365プロジェクトに新規加入。新規プロジェクト立ち上げから、自主グループにつながる支援の仕組みづくり
- ・既存の6団体からなる「せいか365プロジェクト」が、「せいか365プロジェクトネットワーク会議」を立ち上げ、団体同士で情報交換・交流を実施し、自主的に交流する仕組みづくり

〈人づくり〉

- せいか365職員運動推進部会が「まち歩き・お宝発見ウォーク実行委員会」メンバーとして、せいかお宝発見ウォークの企画に参加。住民・関係団体および職員の人材育成の場となっている[→感染拡大防止のため中止]

- せいか365職員運動推進部会等を対象とした人材育成研修を企画

〈プロジェクトづくり〉

- せいか365プロジェクト活動育成セミナーの5プロジェクトの中から、「いつも野菜カフェレストラン」が活動を継続。令和3年度よりせいか365プロジェクトへ新規参画が決定した。

【令和3年度の実施状況】

- せいか365プロジェクト（既存プロジェクト）およびせいか365プロジェクト活動育成セミナー「DIYプロジェクト」の活動支援、参画者の活動支援、既存と新規のプロジェクトの活動がつながるようコーディネートを実施
- せいか365職員運動推進部会員を中心とした人材育成研修を実施（全3回）